tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第85期 中間報告書

2024年4月1日 ► 2024年9月30日

証券コード：9409

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第85期の中間報告書をお届けします。

当中間期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）は、テレビ広告市況が好調に推移したこと等により、連結売上高は1,538億3千5百万円（前年同期比＋4.8％）、営業利益は60億4千７百万円（同＋39.5％）と増収増益となりました。

本年は経営計画「BREAKOUT STATION！ 新しい時代のテレビ朝日　経営計画2023-2025」の２年目となります。様々な取り組みを精力的に推進しておりますが、2025年度までに年間・年度で個人全体視聴率３冠を目指す「視聴率」が特に堅調な推移となりました。上期の個人全体視聴率は全日帯（6時～24時）3.4％、プライム帯（19時～23時）5.0％の２冠、世帯視聴率でも全日帯（6時～24時）6.2％、プライム帯（19時～23時）8.7％の２冠を達成することができました。

インターネット事業では、インターネットテレビ局「ABEMA」、有料動画配信サービス「TELASA」、無料見逃し動画配信サービス「TVer」、動画広告配信プラットフォームを運用する「UltraImpression（ウルトラインプレッション）」等、幅広く取り組んでいます。TVerでの動画再生数や広告収入が急伸し、増収増益を達成しました。

メディアシティでは、臨海副都心の有明南地区に「東京ドリームパーク」の建設を進めています。2026年春の開業を目指して、昨年着工し、建設は着々と進んでいます。開局から65年にわたり蓄積してきたテレビ朝日のあらゆる“ノウハウ”を集結させ、新たな事業領域を創出するべく、詳細なビジネスプラン等の構築を進めていきます。

また、新領域開拓として新たなIP（知的財産）の創出にも積極的に取り組んでいます。株式会社BookLive・株式会社壽屋との３社協業、東映株式会社との新たなパートナーシップ等、強力なパートナーとの連携等を軸に新しいIPビジネスの開発を加速していきたいと考えています。

メディア激変の影響等により中長期的なテレビ広告市況は厳しい先行きとなることも懸念されますが、当社グループが長年にわたり構築してきた“ものづくりネットワーク”は、こうした時代を生き残っていく大きな武器となります。経営計画に沿って既存の「テレビ局」の枠組みを超え、“新しい時代のテレビ局”へと着実に進化していくことが何より大切なことだと考えています。柔軟な発想で資本効率の継続的な改善に努めるとともに、サステナビリティも意識した経営を推進してまいります。企業価値の不断の向上を図ってゆくことで、株主の皆様のご期待に応えてまいる所存です。

2024年12月

代表取締役会長

早河 洋

特集 1-1

災害から命を守るための取り組み －ANN系列による災害の記録－

当社は「未来に向けた5つの重点テーマ」を定めています。その一つに「地球の未来への貢献」を掲げ、災害報道を通して、自然災害から身を守る行動をメディアとして社会へ呼びかけています。

テレビ朝日が行っている、災害情報の発信及び災害時の地域貢献に関する取り組みをご紹介します。

(https://www.tv-asahihd.co.jp/sustainability/agenda/)

災害情報のアーカイブ化の取り組み

「●REC from 311～復興の現在地」へのアクセスはこちら▶

1 「●REC from 311～復興の現在地」

【宮城・気仙沼市の定点撮影】
タイムラインに流されていくニュースとは異なる形で、被災地を伝え続けています

災害から13年あまり 今も被災地を撮影し続けています

東日本大震災直後から「震災以降」の被災地の風景の変化を同じ場所、同じアングルから撮影する「定点撮影」に取り組み続けています。

被災地など100か所以上の「定点撮影」映像と、テレビ朝日をはじめとするANN系列（全国26局ネットワーク）で制作・放送された復興関連のドキュメンタリー番組やニュース企画の映像を集約し、Googleマップ上でそれぞれの現場にあたる地点に埋め込んでいます。

ABEMA NEWS 担当局次長 **西村 大樹**

「●REC from 311」の立ち上げ

入社1年目に阪神淡路大震災が発生し、その後も新潟県中越地震、中国総局特派員時には四川大地震、そして帰国した翌年に東日本大震災が発生し、現地をカメラマンとして取材してきました。これ以上大きな災害はないと思うようなことが、頻繁に起こりました。

しかしながら、どんなに大きな災害でも、テレビでは段々と報じる回数が少なくなり、世代が変わるうちに、教科書の中の話になっていきます。そこで、「伝え続ける場所」をきちっと作らないと、残らないのだと感じました。

東日本大震災が発生した後、被災地に行くたびに、報道するだけではなく、“このような災害が日本で起こった”ということを「記録する」ことが大切だと感じた有志のカメラマン達が、何年にもわたって東北を定点撮影してきました。それらの蓄積された映像をもとに、2019年にGoogleの協力を得て「●REC from 311」を立ち上げました。現在も、この災害を「伝え続ける」ということに意味があるのだと感じています。

特集 1-2

テレビ朝日では能登半島地震の災害情報のアーカイブ化にも取り組んでいます。「●REC from 311」と同じシステムで能登半島地震を伝えています。

「令和6年 能登半島地震被害状況マップ」へのアクセスはこちら▶

令和6年 能登半島地震 被害状況マップ

最大震度7を観測した能登半島地震。その時どこで何が起きたのか。視聴者から寄せられた災害発生の瞬間やANNが撮影した被害状況等を地図上に表示しています。随時更新中です。

「●REC」に込めた思い ～カメラマンの思いをのせた「Record」マーク～

本サイトのタイトル「●REC from 311～復興の現在地」には、カメラの「Record」(録画)マークを模し、撮影したカメラマン達の思いを込めています。東日本大震災で被害を受けた東北では、今日もなお復興が進められています。現在の風景・最新の情報を撮影し、あくまでも“今”を伝えたいという思いから、「復興の現在地」というタイトルをつけました。

言葉ではなく映像だけで、風景の移り変わりを伝える

工夫したことは、どこで・何が起きたのかが直感的に分かるように、マップの形ですぐに映像にたどり着けるようにしたことです。また、映像と静かな音楽だけで構成し、風景の移り変わりを重ね、落ち着いて、客観的な事実として見てもらうことを大事にしました。時間を無制限にとることができるインターネット上だからこそ、あえて自分のメッセージではなく、淡々と事実を伝えたいと考えました。それが被災地に寄り添うことかなと考えています。

動画を見た方は、それぞれ感じることがあると思います。それぞれの復興や、それぞれが持っている思い出などを見ていただけたらと思います。 地上波だけではない表現が可能になったことで、今までとは異なるアプローチで、災害報道の取り組みができるようになったのだと感じています。

世代を超えて災害を知る

一人でも多くの方が、東日本大震災を忘れないようにと思い、このサイトをつくりました。当時生まれていなかった子供達も含めて、世代を超えて、時間がある時に一度見ていただきたいと思います。震災について知ったり、普段の生活の中では中々思い出すことができない災害について、一度立ち止まって考えていただけたら、有り難く思います。

私たちの輪島朝市物語

今年1月に発生した能登半島地震で、大きな被害を受けた「輪島朝市」(石川県輪島市)の過去と現在、そして、これからをみつめる「私たちの輪島朝市物語」。大規模火災でほぼ全焼した「輪島朝市」の震災前と震災後の風景を同じ場所、同じアングルで比較できる映像を公開しています。

また、朝市の「店主」に焦点を当てたインタビュー記事も掲載しています。震災にどのように向き合い、これからをどう生きていくのか…。再建にむかって歩み始めた店主たちのリアルな声を伝えています。

「私たちの輪島朝市物語」へのアクセスはこちら▼

震災後の姿(2024年2月) 震災前の姿(2019年4月)
「輪島朝市」の様子を震災前・震災後同じ場所・アングルから撮影し伝えています

「輪島朝市」の店主に焦点を当てたインタビューが多く掲載されています

「『まいにち防災』～災害を知り 命をまもる」へのアクセスはこちら▶

2 『まいにち防災』～災害を知り 命をまもる

あの日、どこで、どんな災害があったのか
マップ上から知ることができます

【2014年9月27日 御嶽山噴火】
季節によって発生する災害も様々
「あの日」発生した災害をカレンダーから

【寒さしのぐ"段ボールハウス"子どもの一言で考案】
命を守る防災情報＆グッズを紹介しています

地震、津波、台風、大雨、噴火、竜巻、猛暑、豪雪…今日も世界中のどこかで何らかの災害が発生しています。災害から命をまもるために大切なこと。それは災害の脅威に向き合い、理解することだと我々は考えます。その一助となるべく、テレビ朝日系列26局が見つめてきた災害の記録を「まいにち防災」で公開しています。「まいにち防災」は、皆様とテレビ朝日系列26局が一緒につくりあげていく"動画"防災情報サイトです。後世の子どもたち、孫たちに、教訓として災害の記録を残し続けていきたいと考えています。

あの日、どこで、どんな災害があったのか

能登半島地震をはじめ、今年も多くの災害が発生し、防災や減災の重要性が日々伝えられています。本サイトでは、あの日、どこで、どんな災害があったのかを「日めくりカレンダー」と「マップ」にまとめました。その数は400件超。現在も増え続けています。

なかでも、特に大きな被害を出した災害に関しては、新たに再構成した動画を制作。災害のリアルを伝えることで視聴回数が4,000万回を超えるものもあります。また、日めくりカレンダーでは、季節ごとにどんなタイプの災害が増えるのかが非常によく分かります。

ノーカット動画で災害の時間軸を理解する

私はカメラマンとして、様々な災害現場を取材してきましたが、実際に放送されるのはそのごく一部でした。しかし動画尺に縛りのないインターネットであれば、放送では伝えきれなかった災害の姿を伝えられると考え、本サイトでは、あえて編集をせず「ノーカット」で公開している動画が多数あります。これには、災害がどのような時間軸で進行していくのかを皆さんに知って欲しいとの意図があります。

例えば、2014年9月27日の御嶽山噴火では、噴火開始から数分で登山客の目の前が灰で真っ暗になりました。また、東日本大震災発生時の宮古市では、海水面の低下から5、6分で大津波が来ました。写真や文献では伝わらない「災害自体の音」や「周囲の人間のざわつき」なども聞こえてきて、災害をより肌身で感じられることも映像で伝えることの大きなメリットだと考えています。

事前にイメージしておけば、行動はきっと変わる

クロスメディアセンター
佐藤 俊輔

災害は、いつ、どこで、誰が遭遇するか分かりません。多くの方にとって、目の前で起きる災害は初めての経験になるはずです。このサイトを通じて、過去に起きた災害を映像で知り、少しでもイメージできていれば、いざ災害に遭遇した時にとれる命を守るための行動はきっと変わってくると信じます。本サイトがそのための一助になれば、テレビ朝日報道局として幸せに思います。

テレビ朝日は、災害情報の発信及び災害時の地域貢献を行い命を守る取り組みを続けてまいります

特集 2

今年の秋も大胆なタイムテーブル改革を実行
新しく番組が生まれ変わりました

日曜よる 新番組「有働Times」誕生

2024年秋、有働由美子がメインキャスターを務める新番組「有働Times」が日曜よるに誕生しました。“日曜のよる、視聴者をもてなす”というコンセプトで放送しています。

毎週日曜	よる8時56分～10時15分

“日曜のよる、明日から始まる1週間を前に、有働由美子さんが、注目ニュースや、スポーツ、エンタメまで、あらゆるジャンルの「今」を、気さくなトークを交えながらお伝えします。

特集コーナーも、従来のニュース・ワイドショーとは一線を画す、世界の絶景ドキュメントや大物対談をラインナップ！

さらに、天気予報もピアノ弾き語りでお届けするなど、常に「something new」にこだわって、視聴者の方々に選ばれる番組を目指します。”

「有働Times」プロデューサー　保坂 有祐

日曜あさに「グッド！モーニング」!!

2024年秋、あさの情報番組「グッド！モーニング」が、日曜あさにスタートしました。テレビ朝日、ABCテレビ、メ～テレの3局共同制作で総力取材し放送しています。

“「ゆったり」した日曜のあさも、「しっかり」ニュースを見たい。そんな声に応えるべく、日曜の放送でも“その日知りたいニュース”にこだわります。ABCテレビ、メ～テレとの3局共同制作による独自取材と、平石直之アナを中心とした爽やかで溌剌としたスタジオにもご期待ください。日曜放送開始により、「グッド！モーニング」は週7日、毎日の放送です。食卓に並んだお味噌汁や目玉焼きのように、毎朝当たり前にあるもの、馴染みのよい番組にしていきたいと考えています。”

「グッド!モーニング」チーフプロデューサー（土日担当）　吉岡　健次

毎週日曜	あさ5時50分～8時30分※一部地域は6時20分～

変化を続ける、新しい番組のこれからにぜひご期待ください
テレビ朝日では、強い信念を持って今後も挑戦を続けてまいります

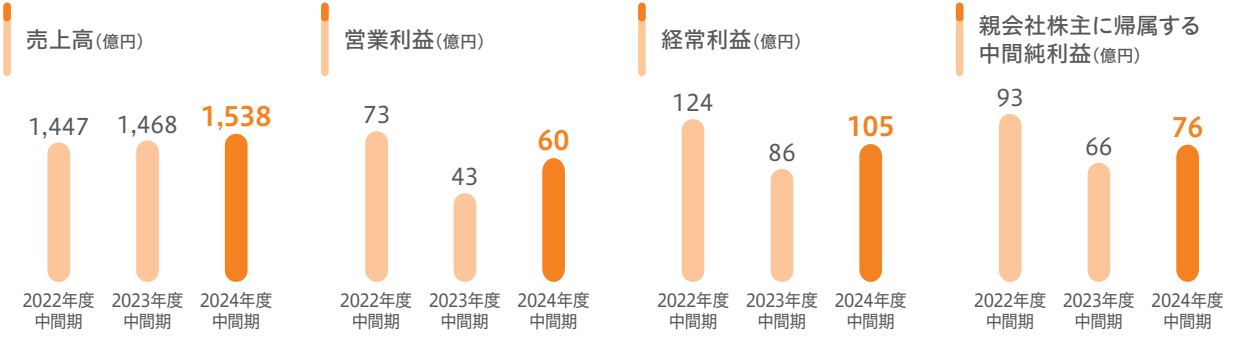
連結業績ハイライト

2024年度上期で個人・世帯視聴率2冠達成！全日・プライムで1位獲得！
大型スポーツ中継や報道・情報ベルト番組など各ジャンルで好結果を残しました。

当中間期の日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復を続けています。

このような経済状況のなか、当中間連結会計期間の売上高はスポット収入が好調なテレビ放送事業セグメントや、音楽出版事業、イベント事業が好調なその他事業セグメントの増収などにより、1,538億3千5百万円(前年同期比+4.8%)となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,477億8千8百万円(同+3.7%)となりました結果、営業利益は60億4千7百万円(同+39.5%)となりました。また、経常利益は105億4千2百万円(同+22.0%)、親会社株主に帰属する中間純利益は76億9千9百万円(同+16.4%)となりました。

	2022年度		2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
売上高 (億円)	1,447	3,045	1,468	3,078	**1,538**	**3,120**
営業利益 (億円)	73	145	43	123	**60**	**160**
経常利益 (億円)	124	231	86	199	**105**	**220**
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (億円)	93	166	66	171	**76**	**200**
総資産 (億円)	4,851	4,951	4,990	5,204	**5,329**	**ー**
純資産 (億円)	3,939	3,947	4,049	4,235	**4,341**	**ー**
営業活動によるキャッシュ・フロー (億円)	78	153	117	191	**148**	**ー**
投資活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△332	△250	△183	△217	**△274**	**ー**
財務活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△40	△66	△33	△58	**△45**	**ー**
1株当たり配当金 (円)	中間20	期末30／通期50	中間20	期末40/通期60	**中間20**	**期末30/通期50**
配当性向 (%)	ー	30.6	ー	35.6	**ー**	**25.4**



ホームページのご案内

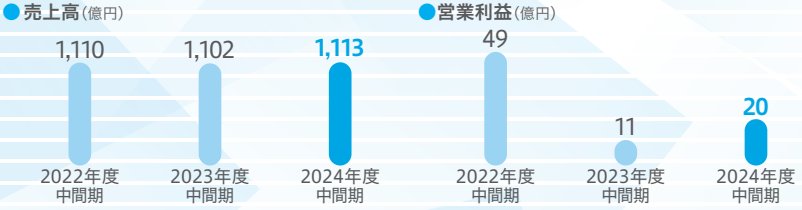
テレビ朝日 IR 検索 https://www.tv-asahihd.co.jp/IR/

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

事業別活動報告

事業別売上高、営業利益はセグメント間取引調整前のものです。

テレビ放送事業



売上高 **1,113億円**(前年同期比1.0%増)

営業利益 **20億円**(前年同期比78.2%増)

2024年度上期の平均視聴率は、全日視聴率(6 時～24時)では個人全体3.4％で１位、世帯6.2％で１位、ゴールデンタイム(19時～22時)は個人全体5.0％で3位、世帯では8.5%で2位、プライムタイム(19時～23時)では個人全体5.0％で1位、世帯8.7%で1位となりました。各報道・情報ベルト番組、週末のレギュラーバラエティなどが堅調に推移し、またパリ五輪中継やサッカーW杯アジア最終予選などスポーツ中継を含めて各ジャンルで好結果を残し、７月クールでは開局以来初めてとなる全日・プライムの２冠を獲得しました。

報道・情報番組では、４月から月-金に加えて新たに土曜に拡大した「グッド！モーニング」が、改編前から数字を伸ばし、同時間帯民放トップを獲得しています。

バラエティでは、週末のレギュラー番組を中心に高い数字を獲得、8月には恒例となった３夜連続バラエティコラボを実施し、連日、高視聴率となりました。

連続ドラマでは、４月クールに放送した木曜ドラマ「Believe－君にかける橋－(上期平均個人6.0％・世帯10.4％)」が上期の民放連続ドラマの３位を記録しました。また、「特捜９season7（上期平均個人4.9％・世帯8.7%)」が同４位と好結果を残しました。また配信では、「Destiny」が平均260万回再生を突破し、テレビ朝日の連続ドラマで歴代最高の数字となりました。

スポーツでは、パリ五輪の「柔道女子52kg級／男子66kg級」「サッカー女子準々決勝日本×アメリカ」が高視聴率を獲得、またサッカーW杯アジア最終予選の初戦となった「日本×中国」は個人全体10.0%・世帯16.0%を記録し、上期のテレビ朝日の番組で最高視聴率となりました。

タイム収入は、アドバタイザーの宣伝活動における固定費削減傾向が継続しているものの、レギュラー番組のセールスについては前年同期と同水準を維持しました。一方で、単発番組につきましては、「パリオリンピック」や「サッカーAFC U23アジアカップパリ五輪アジア最終予選」などのセールスが堅調に推移したものの、前年同期の「世界水泳福岡2023」「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」「全英オープンゴルフ」などの反動により減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は390億7千7百万円(前年同期比△0.4％)となりました。

スポット収入は、視聴率が好調に推移していることや東京地区の広告出稿量が前年同期を上回ったことなどから増収となりました。業種別では、「食品」「自動車・関連品」「飲料・嗜好品」などが好調な一方で、「趣味・スポーツ用品」「外食・各種サービス」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は418億4千2百万円(同＋3.9％)となりました。

「報道ステーション」

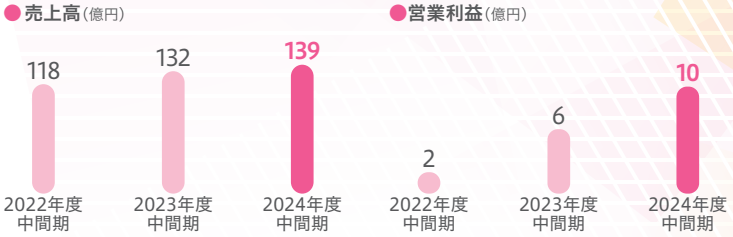
「Believe－君にかける橋－」

「朝メシまで。」

事業別活動報告

インターネット事業

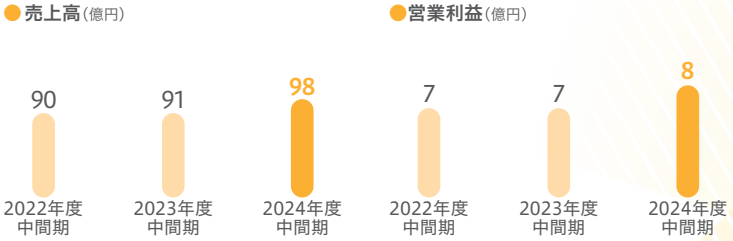
売上高	139億円（前年同期比4.9%増）
営業利益	10億円（前年同期比58.3%増）



無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入や動画配信プラットフォームへのコンテンツ販売が好調に推移したことなどにより、インターネット事業は増収増益となりました。

ショッピング事業

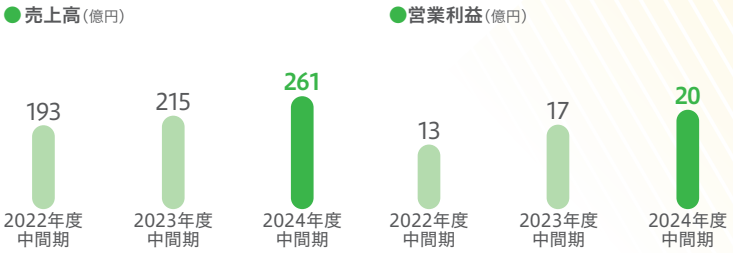
売上高	98億円（前年同期比7.9%増）
営業利益	8億円（前年同期比8.2%増）



通販番組「じゅん散歩」が引き続き好調に推移したことや、通販特番「通販をスクープしてみた !!」や「今田耕司の買うならイマダ『おかんと通販してみた！』」が好評を博したことなどにより、ショッピング事業は増収増益となりました。

その他事業

売上高	261億円（前年同期比21.4%増）
営業利益	20億円（前年同期比16.7%増）



音楽出版事業は所属アーティストの「ケツメイシ」がコンサートツアーを実施したことなどにより増収となったほか、イベント事業は「テレビ朝日ドリームフェスティバル」「The Performance」を開催したことなどにより、増収となりました。その結果、その他事業については増収増益となりました。

株主様向け優待制度のご紹介

ショッピング事業割引 ※1株以上保有の株主様

● ショッピング事業対象商品（テレビショッピング販売商品）の一部割引

長期保有株主様向け優待 ※500株以上を2年以上継続して保有する株主様

● 特製ＱＵＯカード（額面1,000円）またはオリジナルグッズまたは社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団への寄付

施設見学・番組観覧

■ **テレビ朝日本社ビル施設の見学会**（３月末時点で100株以上保有の株主様）

■ **「題名のない音楽会」収録見学**（３月末時点で100株以上保有の株主様）

■ **「ミュージックステーション SUPER LIVE」観覧**（９月末時点で100株以上保有の株主様）

「株主様向け優待制度のご紹介ページ」：https://www.tv-asahihd.co.jp/yuutai/

「株主様向け優待制度のご紹介ページ」へのアクセスはこちら▶

株主様向け優待制度による寄付実績のご報告

2024年度の株主様向け優待において、「社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団への寄付」に多くの株主様からご賛同をいただき、2024年9月30日に総額100,000円を寄付いたしました。ご協力いただいた株主の皆様には、心より御礼申し上げます。

株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する株式会社ロッピングライフの商品の中から、株主様を対象に、**厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。**

ご送付のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、**パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」**にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。
ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料 お問合せ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先
株式会社テレビ朝日ホールディングス
株主様ご優待 通話料無料 お問合せ専用番号
0120-532-510
10時～18時
※日曜・祝日・12/30～1/3は除く

会社情報／株式情報（2024年9月30日現在）

会社の概要

商号	株式会社 テレビ朝日ホールディングス (TV Asahi Holdings Corporation)
設立	1957年11月1日
資本金	367億1,050万円
本店所在地	〒106-8001　東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容	株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等を行う認定放送持株会社

役員（2024年9月30日現在）

代表取締役会長	早河　洋	取締役	田中　早苗
代表取締役社長	篠塚　浩	取締役	中村　史郎
取締役	武田　徹	取締役(監査等委員)	長田　明
取締役	角南　源五	取締役(監査等委員)	池田　克彦
取締役	板橋　順二	取締役(監査等委員)	弦間　明
取締役	堀江　隆	取締役(監査等委員)	藤重　貞慶
取締役	西　新	取締役(監査等委員)	宮田　桂子
取締役	多田　憲之		

(注) 多田 憲之、田中 早苗、中村 史郎、池田 克彦、弦間 明、藤重 貞慶、宮田 桂子の各氏は、社外取締役であります。

株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	21,643名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,151,840	24.72
東映株式会社	18,522,900	17.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6,728,700	6.36
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.75
みずほ信託銀行株式会社　退職給付信託　大日本印刷口 再信託受託者　株式会社日本カストディ銀行	4,030,000	3.81
KBCグループホールディングス株式会社	3,333,500	3.15
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,066,993	2.89
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,106,700	1.99
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	1,638,600	1.54

(注)持株比率は、自己株式(2,761,818株)を控除して計算しております。また、小数第二位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 0120-782-031 受付時間　9:00～17:00(土日祝日および12/31～1/3を除く)
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。

tv asahi テレビ朝日ホールディングス
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115　URL https://www.tv-asahihd.co.jp